

🍏 研究動機

課題研究のテーマを考えているときに、大阪市の中央公堂をスクリーンに見立てたプロジェクションマッピングを見に行きました。その迫りに圧倒され、自分でもこんなことができたなら、人を楽しませることができると思いました。しかし、プロジェクションマッピングの映像を作る能力はなく、「まずは簡単なアニメーション制作から始めてみよう！」と思い、この課題にしました。

🍏 使用したソフトウェア、機材

- Adobe Illustrator, After Effects, Lightroom
- Panolapse (カメラ、レリーズ、三脚)
- Cinema4D

🍏 参考知識

Panolapse とは？ - 写真を動画にするもの

Panolapse の RAWBlend というツールを使うことによって、場所を固定して連続撮影した写真をタイムラプスとして出力することができる。

※タイムラプス：動画を早送りにした様なもの

Cinema4D とは？ - 素早く簡単に 3D を作るもの

モーショングラフィックスを得意とする 3DCG 作成ソフト。

After Effects との連携を簡単に行うことができるため使用。

※モーショングラフィックス：静止画に動きや音を加え映像にしたもの

🍏 作業内容

Illustrator で素材作成

◎まずはフリー素材から

Freepik というサイトから、Illustrator で編集可能な素材を集める。

◎作りたいものを自分で

アニメーションに必要で、Freepik にないものは自分で作成する。



この PC のイラストは元になる画像を用意してトレースしたもの。

※今回は Cinema4D で作成した 3D 素材の画像を参考に作成

After Effects でアニメーション作成

◎絵に動きを与える

YouTube で参考になる動画を見ながら、どういう操作をすれば、どういう動きになるのかを勉強する。

◎キーフレームは友達

Illustrator で作成した素材を使用し、イメージする動きを加えていく。



自分の表現したい動きにキーフレームを打ち、作っていく。

※キーフレーム：1枚1枚の画像（フレーム）に変化を加えるための印

🍏 感想

当初は After Effects の使い方が分からなくても、「努力すればなんとかなる。それによって自身の成長にも繋がるだろう。」と軽い気持ちでアニメーション制作を開始しました。

しかし、一向に使い方が分からず、「このまま何も作れずに課題研究を終えるのだろう」と本気で思いました。

諦めかけていた時に、ようやくの思いでひとつの作品が完成しました。その時やっと、「楽しい！」と思う事ができました。それからは、インターネットで自分がどの様なアニメーションを作りたいのかを探っていました。

この課題研究を通して、自分の力でひとつの課題を自分なりに調べ、学び、知る事ができました。課題研究の目的として、「自分の力で動画編集能力を習得することによる、理解力、忍耐力の向上」を挙げていました。それは、十分に達成する事ができたと思います。

また、大学進学後の専攻を迷っていましたが、課題研究を機に始めたこの分野にも取り組んでいこうという気になりました。

この授業がなければ始めていなかったこと、1年間という拘束がなければ諦めていたかもしれない世界に、これからも進みたいと思わせてくれた課題研究に感謝しかありません。

🍏 まとめ

◎課題研究で私が得たこと

- ・「出来ないから、やらない」ではなく「出来ないから、やってみる」ということ
- ・小さなきっかけで始めたこと、諦めそうになっていることでも、「やりきった！もう悔いはない」というところまでは無理をしてでもしてみるべきだということ
- ・一つの成功が次の一步を作り、大きな成功に繋がるということ